



# 市民のSOSに コロナ禍を乗り越える大津市へ

新型コロナパンデミックはまもなく2年に及び、冬の「第6波」も心配されます。党市議団は、今こそ住民福祉の向上という地方自治体の本旨に根ざし、命と暮らしを最優先にする市政を求めて、8月通常会議に取り組み、来年度予算編成にあたっての政策要望を行いました。

## 願いを届け、 命・暮らしを守る対策示す

来年度予算編成にむけ重点政策要望

この夏の新型コロナ感

染爆発で、救えるはずの命が救えなかった各地の経験から、医療・保健体制の強化、ワクチン接種と大規模検査、「自粛」への十分な補償の必要性は明らかです。

加えて、さらなる貧富の格差拡大や障がい者・高齢者など社会的弱者に対する社会保障、防災対策の強化など、市が果たすべき役割と市民の期待は強まっています。

党市議団は、コロナ対策の強化をはじめ、中小業者への実効性ある支援策、生活保護制度の運用



市長（左端）に要望する党市議団

- 高齢者・障がい者施設でのコロナ検査
  - 減らされ続けた、保健師・支所職員の増員
  - 「生活保護は権利」広報としおりの改善
  - 就学援助制度・新入学学用品費の引き上げ
  - 小中学校のトイレ改修
  - 学校などで生理用品を無償提供
  - 市営住宅入居時の保証人に、機関保証制度も導入
  - 卸売市場の民営化ストップ
- …などなど

市民のみなさんとの共同で前進!!

### 政策要望の主な柱

- ◆ コロナ検査の拡充、医療と公衆衛生の体制強化
- ◆ 市民、事業者への直接支援で市内経済循環を
- ◆ 公共交通の充実など安心して暮らせるまちづくり
- ◆ 気候危機に対し、防災強化と再エネ推進を
- ◆ ジェンダー平等、多様性を認め合う取り組みを

※全文は、党市議団ホームページに掲載しています。冊子も用意しています。

### 8月通常会議の議案

## コロナから 市民を守る施策を 最優先に



コロナ禍でまず市が取り組むべきは、市民の命・暮らしを守る事です。

ところが、今議会には、県の観光事業「ピワイチ」のために、大津港サイクルステーションの整備運営議案が提出される一方、

コロナの検査拡充や苦境に立つ地域事業者への直接支援策は示されませんでした。

また、2億円もかけた大手3社のキャッシュレス決済ポイント還元事業、市民の個人情報報を国に集め企業が利用できる仕組みづくりを進める条例改正や、温泉施設「比良とびあ」の料金値上げも可決されました。

党市議団は、困窮する市民・事業者を支え、不安に配慮する施策こそが必要と、これらの議案に反対しました。

## 消極的なコロナ対策 43年連続黒字

昨年度の市政には、未知のウイルスへの不安とコロナ禍で苦しむ市民・事業者を守る積極的な施策が求められていました。党市議団は、検査の拡充や暮らしを直接あたる支援をくり返し要望しました。実際の市政は：

### 2020年度 大津市決算 の問題点

#### 小規模事業者応援給付金

他市町より要件が厳しく、対象外の事業者から悲鳴

#### GoToキャンペーン関連

感染拡大期に観光推進へ5,237万円

#### 大津駅前公園

ずさんな計画。民間委託で活用を図るも、事業者が撤退



きれいに整地されたものの…トイレが撤去され不便に

#### 16億円の基金積み増し

コロナ対策臨時交付金を一般事業にも使い、貯めこみ&黒字に

#### 正規職員の削減

過密労働→市民サービス低下。非正規職の83%が女性



# 質問 紹介

2021年8月通常会議 (会期：8月～10月)

## 希望ある未来へ全力で論戦

### ●事業を続けられる直接支援を

地域  
の事業者の  
実情を聞く  
たてみち市議



長引くコロナ禍で中小・小規模事業者の営業は深刻です。廃業も増えており対策は待ったなしです。市はキャッシュレス決済ポイント還元事業に2億円もの予算をつけましたが、決済手数料は各事業者の負担で、売り上げが入金されるのも翌月以降になるなど、支援とは言えません。

たてみち市議は、直接届く施策に見直すとともに、消費税率の引き下げ、給付金の再支給などを国に要望するよう求めました。

たてみち秀彦 市議

**市は** ポイント還元は有効な施策で見直す考えはない、国に要望もしないと切実な願いに背を向けました。

**その他の質問項目**  
地域産業振興基本条例案、がん対策について

### ●コロナ検査の拡充で子ども守れ

感染予防の3原則は、感染源の排除、感染経路の遮断、健康管理です。新型コロナは無症状感染するため、感染源を見つけ、経路を遮断する検査が不可欠です。大津市でも高齢者施設の検査で無症状者が発見されています。

子どもの感染も増えており、柏木市議は、保育園、学校などの職員の定期検査に踏み出すよう求めました。冬の感染拡大を防ぐためにも検査の強化が必要です。

柏木けい子 市議

**市は** 職員のワクチン接種は進んでおり健康観察もしていると、ワクチン頼みで検査拡充には後ろ向きの回答でした。

**その他の質問項目**  
新型コロナ医療体制、避難所の安全対策について

### ●給付金で低所得者の支援を

国は、コロナ禍で所得が減少した世帯に対し特例貸付を行ってきましたが、貸付だけでは暮らしを立て直すことはできず、生活困窮は深刻さを増しています。

新たな「生活困窮者自立支援金制度」は、自営業者でも求職活動が必要など要件が厳しく、杉浦市議は、支援が届かない市民がいることを指摘。実情を踏まえた低所得者への給付制度の創設を求めました。

杉浦とも子 市議

**市は** 支援金の給付状況や国の動向を見た上で検討するとの答弁に終わりました。

**その他の質問項目**  
避難所運営、市行革プラン、市職員の時間外労働、子ども支援について

### ●危険な盛り土を防げ

7月に発生した熱海の土石流は全国に衝撃を与えました。大津市でも盛り土や不法投棄地で土砂崩れや道路への浸水が相次いでいます。市は事業者への指導や監視をしていますが、厳しい規制はできず限界があります。

小島市議は、厳格な盛り土の規制基準、法律の実現を国に要望するよう求めました。残土の発生から搬出、処分までを管理できる法整備が、一刻も早く必要です。

小島よしお 市議

**市は** 国の制度強化を注視し、対策への財政支援は要望していくと消極的な答弁でした。

**その他の質問項目**  
土砂災害対策、大規模太陽光発電について

### ●気候危機打開へ実効性ある環境計画を

温暖化が深刻になる下で、2030年度までの大津市環境基本計画が策定中です。省エネの徹底と再生可能エネルギーの飛躍的普及、そして自然環境を守り、共生していく施策が必要です。

林市議は、自然破壊や、生活環境を脅かす乱開発を防ぎながら、脱炭素社会の実現に向けて再生可能エネルギーの活用などを、具体的にどのように推進していくのか、市の姿勢を追及しました。



ダンボールコンポスト。生ごみを堆肥化し、ごみ減量でCO2削減へ

林まり 市議

**市は** 法令の遵守を求めることで、環境保全などを推進していくと答弁。実効性が問われます。

**その他の質問項目**  
パートナーシップ制度、公営合葬墓について

内容	日本共産党	新和会 (自民維新他)	湖誠会 (自民系)	公明党	市民ネット (民主系)	協生会 (民主系)	清正会	立志会 (自民系)
新型コロナ「原則自宅療養」の撤回、医療体制の強化を求める	◎	×	×	×	×	×	×	×
介護施設利用の補足給付縮小の撤回を求める	◎	×	×	×	×	×	○	×
太陽光発電の立地等を規制する法整備を求める	○	○	○	×	◎	○	○	○

◎=提案会派、○=賛成、×=反対 (他に5件の意見書案が提出されました)

「原則自宅療養」の撤回、生活保護・介護保険改悪の中止、入管施設の人権問題...

### 8月通常会議の意見書案

## 命・人権守れ! 願い込めた意見書提案

今議会も党市議団は、国に対し、命や暮らし、権利を守ることを求める意見書案を6本提出しました。

8月豪雨では大津市でも土砂災害が発生。危険な盛り土を規制するため、全国一律の法整備を求める党市議団提出の意見書案に対し、新和会は「ただちに必要ではない」と反対討論。自民・公明などの会派も反対し、否決されました。災害に対する認識や市民を守る姿勢が問われます。

みなさんと  
ともに

日本共産党  
大津市議員団



杉浦とも子  
090-4491-1522



たてみち秀彦  
090-7105-3648



林まり  
090-5045-2490



柏木けい子  
090-1919-5298



小島よしお  
090-5058-2832